

産婦人科

【2ヶ月コース】

産科到達目標：

- 1) 産科初診患者の問診をとることができる。
- 2) 妊婦健診ができる（レオポルド法による外診や超音波 エコー検査で胎児推定体重の算出や羊水指数の計測など基本的な産科計測ができる。）
- 3) 正常分娩経過を知り、正常から逸脱している経過について、助産師と検討して、指導医に報告できる。
- 4) 正常分娩後の第1度会陰裂傷について縫合修復できる。第2度以上の会陰裂傷については、指導医のもとで自ら縫合修復あるいは指導医の介助を行える。
- 5) 帝王切開手術の第2助手ができる。

婦人科到達目標：

- 1) 婦人科初診患者の問診をとることができる。
- 2) 内診の基本的な手技を理解し、行うことができる。
- 3) 経膈超音波エコー、CT、MRIなどの基本的な婦人科臓器や婦人科疾患の画像を理解し、説明することができる。
- 4) 開腹手術の第2助手の役割を行う。
- 5) 経膈手術の第2あるいは第1助手の役割を行う。

研修内容

分娩経過観察および分娩介助：目標症例数 20 例以上としているが、夜間、休日を on call とすることで 2 ヶ月間で例外なく達成されている。症例はすべて指導医のもとで日々のカルテ記載のほかに、カルテサマリーの記載まで行う。

産科および婦人科手術参加：約 50 例の産科・婦人科手術（緊急手術も含む）を経験するが、手術だけでなく、入院から術前検査、手術、術後管理、退院までの流れを理解し、必要な指示をクリティカルパスを利用して出す。

産婦人科の基本的な診察手技：内診、膈鏡診、経膈超音波などを入院患者の術前、術後あるいは退院診察の際に指導医のもとで行う。

外来診療研修：新患の病歴聴取および診察を指導医とともに行う。

妊婦検診を指導医のもとで行う。

症例検討会：毎週月曜日外来診療終了後

勉強会：指導医のレクチャー、外部の研究会参加、研修医による症例報告

《週間予定》

	午前	午後
月	病棟回診・入院患者診察	外来診療研修 症例検討会
火	病棟回診・手術参加	手術参加
水	病棟回診・入院患者診察	外来診療研修
木	病棟回診・入院患者診察	手術参加
金	病棟回診・入院患者診察	外来診療研修 勉強会

【5ヶ月コース】

1週間の流れは2ヶ月コースと基本的には同じであるが、より症例経験を重ねることで2ヶ月コースの到達目標を確実にし、さらに以下のことを目標とする。

産科到達目標：1) 分娩経過中に内診所見をとる。子宮口開大度や児頭下降度を診断できる。

2) 帝王切開の第1助手ができる。

婦人科到達目標：1) 付属器切除術の執刀医ができる。

2) 良性疾患手術の第1助手ができる。

3) 問診、内診、経膈超音波検査などで、婦人科急性腹症（子宮外妊娠、卵巣出血、卵巣嚢腫茎捻転）の鑑別診断ができる。

【10ヶ月コース】

産科到達目標：1) 分娩経過中に内診所見をとる。児頭の回旋を診断できる。

2) 指導医のもとで会陰切開を行い、縫合修復ができる。第2度会陰裂傷縫合ができる。

3) 帝王切開の執刀医ができる。

婦人科到達目標：1) 婦人科外来にて子宮頸部細胞診、消息子診、子宮内膜細胞診検査およびダグラス窩穿刺が行える。

2) 子宮内膜搔爬術を執刀できる。

3) 婦人科急性腹症（子宮外妊娠、卵巣出血、卵巣嚢腫茎捻転）の鑑別診断ができ、手術の執刀をすることができる。

4) 良性疾患の単純子宮全摘出術を指導医のもとで行うことができる。

10ヶ月コースでは特に上記の基本的な到達目標以上のあるいは以外の幅広い研修も可能であると考えられる。